

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート				所属名 決算書	教育総務課 117p
大事業名	吉川保育所管理事業	款	項	目	
		民生費	児童福祉費	児童福祉施設費	

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略]	
	施策	子育て支援環境の充実			
	総合戦略			[その他]	
	個別計画				

1.概要

事業内容	吉川保育所施設・設備等の修繕、保守管理や菓子遊蕩を行う。
対象	吉川保育所の施設・設備・備品等
意図・目的	吉川保育所の施設・設備等の適正な維持・管理及び児童の保育環境の充実を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	吉川保育所管理事業	吉川保育所の施設・設備の保守管理及び修繕等	1,355	1,802	198
2	吉川保育所備品買替事業	備品買替（保育テーブル、傘立て）	490	80	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

施設の維持管理及び施設の修繕・改修等を行い、教育保育環境の維持を図るとともに、施設の安全に資することができた。			
〈主な経費〉			
・施設修繕	906,091円	・施設設備等保守管理委託	112,080円
・業務委託	201,452円	・施設設備等清掃委託	373,200円
・屋外遊具設置	198,242円	・保育テーブル・傘立て買替	79,704円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有	施設・設備の適正管理	施設・設備の老朽化
現状の課題	事業内容	有		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	施設の機能を見据えた施設の改修及び設備の更新	施設・設備の老朽化
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

施設の老朽化が進む中、施設の機能維持を見据えた個別施設計画を策定することにより、施設の劣化状況や状態の変化を把握し、改修等の優先順位、改修内容、実施時期等を定め、改修費用の平準化を図る。

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書教育総務課
165p

大事業名	教育委員会運営事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	教育委員会費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略]
	施策	学校教育の充実		
	総合戦略			[その他]
	個別計画			

1.概要

事業内容	教育委員会会議の開催、学校園所視察訪問、研修等
対象	教育長及び委員
意図・目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育行政の推進に資することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	教育委員会運営事業	教育委員会会議の開催、教育委員研修等	935	916	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

教育委員会会議の開催や学校園所への訪問視察を行うなど、本町の教育行政の推進に資することができた。

- ・ 定例会、臨時会の開催：年13回開催
 - ・ 学校園所訪問視察：小学校4校、中学校2校、保育所、幼稚園、認定こども園
 - ・ 委員研修・研究会 年6回
 - ・ 各種行事への出席：入学式、運動会、体育祭等
 - ・ 総合教育会議：年2回
- 〈主な経費〉
- ・ 教育委員会委員報酬 5名 750,000円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
167p

大事業名	事業名	項目		
		款	項	目
	学校園管理事業	教育費	教育総務費	事務局費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略]
	施策	学校教育の充実		
	総合戦略			[その他]
	個別計画	豊能町教育大綱		

1.概要

事業内容	学校園の横断的な管理業務等
対象	小中学校、幼稚園、認定こども園
意図・目的	小中学校・幼稚園等に関する総合的な施設管理、安全対策及び人事管理等に係る事務等を行い、学校園の円滑な運営を図ることを目的とする。

2.構成事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	学校園管理事業	学校園の横断的、総合的、効率的な施設管理及び行事等サポート事務、外国青年招致、豊能地区教職員人事権移譲事務、教育総務事務等	7,541	7,298	91
2	小中一貫教育等推進事業	小中一貫教育の推進と教育施設の再編を進める。	4,436	528	528
3	小中学校校務支援システム導入事業	働き方改革の一環として、適正かつ効率的な校務処理及び教職員の事務負担軽減を図るため、校務支援システムを導入する。	0	6,850	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

〈小中一貫教育等推進事業の主な活動〉
・小中一貫教育推進・学校再配置計画説明会の開催（2回）
・小中一貫教育先進地視察（8月26日…彩都の丘学園（箕面市）、10月2日…大原学園（京都市）、11月20日…東山開晴小中学校（京都市）、1月22日…ささゆり学園（能勢町））
・教育フォーラムinとよの開催（2月15日 会場：ユーベルホール）
〈学校園管理事業の主な経費〉
・小中学校校務支援システム導入 6,850,008円
・学校園の剪定、支障木伐採等（業務委託料） 2,287,961円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	学校の負担軽減	教職員の業務量の増加
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	小中一貫校の整備 小中一貫教育等の推進に向けた学校再配置計画の策定	児童・生徒の減少
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

小中一貫教育等推進については、教育大綱（R2年1月改定）を踏まえ、早期に学校等の再配置計画を策定することが必要である。

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
169p

大事業名		学校園保健衛生事業	款	項	目
			教育費	教育総務費	事務局費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		関連指標	[総合計画]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実			[総合戦略]
	施策	学校教育の充実			
	総合戦略				[その他]
個別計画					

1.概要

事業内容	学校園の児童生徒及び教職員の健康診断等の実施
対象	園児・児童・生徒・教職員
意図・目的	学校園における児童生徒及び教職員等の健康の保持増進を図るなど、安全・安心な学校園の運営に資することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	学校園保健衛生事業	児童・生徒の健診、就学時就園前健診、教職員健診、検便検査、学校医報酬等	12,671	12,736	432

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

就学時・就園前健診、学校健診及び教職員健診等を実施するなど、学校園の安全・安心な運営に資することができた。	
・就学時・就園前健診：東西地区 各1回実施（11月）	・学校健診：4月～7月実施
・歯みがき指導：6月・11月実施	・脊柱側弯症検診：12月実施
・教職員健診：7月～8月実施	
〈主な経費〉	
・学校医報酬(その他報酬) 7,854,900円	・薬剤師報酬（その他報酬）540,000円
・児童生徒の健康診断等委託 1,050,715円	・教職員健診委託料 1,447,101円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
169p

大事業名		就学援助事業	款	項	目
			教育費	教育総務費	事務局費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略]	
	施策	学校教育の充実			
	総合戦略				
個別計画				[その他]	

1.概要

事業内容	経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費、給食費及び修学旅行費等を援助費として給付する。
対象	経済的理由による就学困難な小中学校の児童生徒の保護者
意図・目的	就学困難な小中学校の児童生徒への就学支援を行い、教育の機会均等を図る。

2.構成事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	就学援助事業	経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費、給食費及び修学旅行費等を援助費として給付する。	9,743	7,483	12

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

子どもの就学援助に資することができた。 新入学学用品費等入学前支給：7名
・令和元年度における就学援助の状況：小学生 53人、中学生 44人、合計 97人 （主な経費） ・要保護・準要保護の就学援助（扶助費）7,483,566円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

--

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
175p

大事業名	奨学資金貸与事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	奨学費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	[総合計画]	[総合戦略]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		
	施策	学校教育の充実		
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造		
個別計画			[その他]	

1.概要

事業内容	経済的理由のために高等学校以上の修学が困難と認められる者に対し、奨学資金を貸与する。
対象	高等学校、大学等に在学する学生
意図・目的	奨学資金を貸与することにより、経済的理由により修学が困難と認められる者に対し、教育機会を確保することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	奨学資金貸与事業	奨学資金の貸与 高校生 月額 12,000円 大学生 月額 25,000円等	1,644	1,500	1,500

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

奨学資金を貸与することにより教育機会の確保に資することができた。		
○貸与件数、貸与額		
大学生	5名（内 新規認定1名）	
計	5名	1,500,000円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	他の奨学金制度との役割の見直し 貸与型でない就学支援制度の検討	他の奨学金制度の充実・多様化
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

C	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

高等教育の無償化の動向を踏まえ、本町の奨学金制度の再構築を図る。

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
175p

大事業名	小学校管理事業	款	項	目
		教育費	小学校費	学校管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		
	施策	信頼される学校づくり		
	総合戦略			
個別計画				

1.概要

事業内容	町立小学校の施設、設備の整備及び維持管理、給食調理委託等
対象	町立小学校の施設
意図・目的	町立小学校4校の施設の維持管理及び施設の修繕を行い、教育環境の維持を図るとともに、施設の安全を確保することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	小学校管理事業	小学校4校の施設・設備の整備及び維持管理、小学校給食調理委託等	53,984	58,201	0
2	小学校施設整備事業	小学校4校の改修工事（東能勢小学校…屋上防水、吉川小学校…防球ネット改修、光風台小学校…消防設備改修、東ときわ台小学校…グラウンド整備ほか）	1,750	14,184	11,783
3	学校プール指導委託事業	吉川小学校プール指導委託をシートスで実施	0	944	0
4	留守番電話導入事業	働き方改革の一環として、教職員の負担軽減を図るため、全小学校に留守番電話を設置	0	226	0
5	空調機器設置事業	夏の猛暑対策として、小学校4校の教室に空調機器を設置	0	59,857	59,857

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・施設の維持管理及び施設の修繕・改修を行い、教育環境の維持を図るとともに、施設の安全に資することができた。 （主な経費） ・小学校普通教室等空調機器設置工事 59,857,018円＜繰越事業＞ ・東ときわ台小学校グラウンド整備工事 5,302,800円 ・東能勢小学校屋上防水修繕工事 6,480,000円 ・吉川小学校防球ネット改修工事 1,287,000円 ・光風台小学校消防設備修繕工事 1,012,000円 ・東能勢小学校受変電設備修繕 474,100円 ・小学校支障木伐採業務 499,400円 ・小学校給食調理委託業務 43,860,000円
--

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	有	・学校施設・設備の適正な維持管理 ・教室等の空調整備	・学校施設・設備の老朽化 ・近年の猛暑傾向
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	学校施設の機能を見据えた、学校施設の改修及び設備の更新	学校施設・設備の老朽化
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

施設の老朽化が進む中、学校施設の機能維持を見据えた個別施設計画を策定することにより、学校施設の劣化状況や状態の変化を把握し、改修等の優先順位、改修内容、実施時期等を定め、改修費用の平準化を図る。

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書教育総務課
177p

大事業名	東能勢小学校運営事業	款	項	目
		教育費	小学校費	学校管理費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略]
	施策	信頼される学校づくり		
	総合戦略			[その他]
	個別計画			

1.概要

事業内容	東能勢小学校の運営
対象	東能勢小学校 児童
意図・目的	小学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	東能勢小学校運営事業	学校運営に関する経費	8,351	8,573	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

東能勢小学校の円滑な運営に資することができた。		在籍児童数（令和元年5月1日現在）		
〈主な行事〉	・入学式 4月8日	1学年	1学級	24人
	・運動会 6月1日	2学年	1学級	20人
	・修学旅行 10月3～4日	3学年	1学級	28人
	・遊びの来店 11月9日	4学年	1学級	21人
	・マラソン大会 11月28日	5学年	1学級	36人
	・卒業式 3月18日	6学年	1学級	18人
		計	6学級	147人

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
177p

大事業名	吉川小学校運営事業	款	項	目
		教育費	小学校費	学校管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		
	施策	信頼される学校づくり		
	総合戦略			
個別計画				

1.概要

事業内容	吉川小学校の運営
対象	吉川小学校 児童
意図・目的	小学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H30決算	R01決算	うち特定財源
1 吉川小学校運営事業	学校運営に関する経費	7,425	5,943	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

吉川小学校の円滑な運営に資することができた。		在籍児童数（令和元年5月1日現在）		
〈主な行事〉 ・ 入学式 4月8日 ・ 運動会 6月1日 ・ 修学旅行 10月7～8日 ・ 学習発表会 11月16日 ・ 卒業式 3月18日	1学年	1学級	10人	
	2学年	1学級	12人	
	3学年	1学級	15人	
	4学年	1学級	13人	
	5学年	1学級	16人	
	6学年	1学級	10人	
	計	6学級	76人	

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
179p

大事業名	光風台小学校運営事業	款	項	目
		教育費	小学校費	学校管理費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略]
	施策	信頼される学校づくり		
総合戦略			[その他]	
個別計画				

1.概要

事業内容	光風台小学校の運営
対象	光風台小学校 児童
意図・目的	小学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	光風台小学校運営事業	学校運営に関する経費	14,674	14,823	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

光風台小学校の円滑な運営に資することができた。		在籍児童数（令和元年5月1日現在）	
〈主な行事〉	1学年	1学級	32人
・入学式 4月8日	2学年	1学級	37人
・運動会 6月1日	3学年	2学級	43人
・修学旅行 10月3～4日	4学年	1学級	37人
・学習発表会 11月15日	5学年	2学級	44人
・卒業式 3月18日	6学年	1学級	28人
	計	8学級	221人

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
179p

大事業名	東ときわ台小学校運営事業		款	項	目
			教育費	小学校費	学校管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	[総合計画]		
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実	[総合戦略]		
	施策	信頼される学校づくり			
	総合戦略		[その他]		
	個別計画				

1.概要

事業内容	東ときわ台小学校の運営
対象	東ときわ台小学校 児童
意図・目的	小学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R 01決算	うち特定財源
1	東ときわ台小学校運営事業	学校運営に関する経費	8,062	8,120	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

東ときわ台小学校の円滑な運営に資することができた。在籍児童数（令和元年5月1日現在）				
〈主な行事〉	1学年	1学級	14人	
・入学式 4月8日	2学年	1学級	25人	
・運動会 6月1日	3学年	1学級	22人	
・修学旅行 10月4～5日	4学年	1学級	22人	
・学習発表会 11月22日	5学年	1学級	15人	
・マラソン大会 12月5日	6学年	1学級	31人	
・卒業式 3月18日	計	6学級	129人	

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
179p

大事業名	小学校教育振興事業	款	項	目
		教育費	小学校費	教育振興費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略]
	施策	学校教育の充実		
	総合戦略			[その他]
	個別計画			

1.概要

事業内容	教材備品の整備、情報教育機器の整備、教科研究活動等
対象	町立小学校
意図・目的	小学校教育課程において必要な備品を整備し、学習環境を整える。また、研究会の実施により、教育の向上を目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	小学校教育振興事業	教材備品の購入、情報教育機器の整備、各種教育研究会負担金等	13,101	5,522	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

小学校教育課程に係る教材備品を整備するなど、学習環境の充実に資することができた。
〈主な経費〉
・教育振興備品購入（教材費） 1,004,117円
・情報機器の更新に係る機器使用料（機械器具使用料） 4,459,092円
・各団体負担金（負担金） 59,140円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有	GIGAスクール構想実現に向けた情報機器の整備	情報教育の推進
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	無	機器の管理・更新	機器の保守管理 電子教材の充実
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

国が進めるGIGAスクール構想に基づき、情報教育の推進を図るため、情報機器の充実・更新を進めていく。
--

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
181p

大事業名	中学校管理事業	款	項	目
		教育費	中学校費	学校管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	[総合計画]	[総合戦略]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		
	施策	信頼される学校づくり		
	総合戦略			
個別計画			[その他]	

1.概要

事業内容	町立中学校の施設、設備の整備及び維持管理、給食調理委託等
対象	町立中学校の施設
意図・目的	町立中学校2校の施設の維持管理及び施設の修繕を行い、教育環境の維持を図るとともに、施設の安全を確保することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H30決算	R01決算	うち特定財源
1 中学校管理事業	中学校2校の施設・設備の整備及び維持管理、給食調理委託等	29,418	36,477	0
2 中学校施設整備事業	中学校2校の修繕・補修（東能勢中学校…ブルフェンス補修、吉川中学校…ブル日除け設置 他）	0	1,850	1,850
3 留守番電話導入事業	働き方改革の一環として、教職員の負担軽減を図るため、全中学校に留守番電話設置	0	99	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・施設の維持管理及び施設の修繕・改修を行い、教育環境の維持を図るとともに、施設の安全に資することができた。
〈主な経費〉
・吉川中学校防球ネット修繕工事 1,104,840円<事故繰越>
・吉川中学校ブル日除け設置工事 453,600円
・東能勢中学校ブルフェンス隙間改修工事 291,600円
・学校施設等修繕料 2,682,099円
・中学校給食調理委託業務 28,974,000円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	有	・施設・設備の適正管理 ・中学校給食の改善 ・教室等の空調整備	・施設・設備の老朽化・経年劣化 ・中学校給食のメニューの工夫、食育の取り組み ・近年の猛暑傾向
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	学校施設の機能維持を見据えた、学校施設の改修及び設備の更新	・施設・設備の老朽化・経年劣化
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

・施設の老朽化が進む中、学校施設の機能維持を見据えた個別施設計画を策定することにより、学校施設の劣化状況や状態の変化を把握し、改修等の優先順位、改修内容、実施時期等を定め、改修費用の平準化を図る。
・給食については、生徒のニーズを踏まえたメニューの工夫や工場見学を行うなど、デリバリー給食の理解に努める。

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
183p

大事業名		東能勢中学校運営事業		款	項	目
				教育費	中学校費	学校管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり			関連指標	[総合計画]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実				[総合戦略]
	施策	信頼される学校づくり				
総合戦略						
個別計画				[その他]		

1.概要

事業内容	東能勢中学校の運営
対象	東能勢中学校 生徒
意図・目的	中学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	東能勢中学校運営事業	学校運営に関する経費	7,865	7,133	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

東能勢中学校の円滑な運営に資することができた。			
〈主な行事〉		在籍生徒数（令和元年5月1日現在）	
・入学式	4月5日	1学年	1学級 24人
・修学旅行	5月15～17日	2学年	1学級 34人
・東能勢フェスタ（舞台の部…6月14日、展示の部…11月7日）	3学年	1学級	35人
・体育祭	9月26日	計	3学級 93人
・職場体験学習(2年)	10月29～31日		
・マラソン記録会	12月5日		
・卒業式	3月13日		

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
183p

大事業名		吉川中学校運営事業	款	項	目
			教育費	中学校費	学校管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]	
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略]	
	施策	信頼される学校づくり			
	総合戦略				
	個別計画				
				[その他]	

1.概要

事業内容	吉川中学校の運営
対象	吉川中学校 生徒
意図・目的	中学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	吉川中学校運営事業	学校運営に関する経費	9,319	9,883	15

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

吉川中学校の円滑な運営に資することができた。		
〈主な行事〉		在籍生徒数（令和元年5月1日現在）
・入学式 4月5日		1学年 2学級 92人
・修学旅行 5月22～24日		2学年 3学級 74人
・合唱発表会 6月6日		3学年 3学級 82人
・体育大会 9月25日		計 8学級 248人
・職場体験学習(2年) 10月23～25日		
・卒業式 3月13日		

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
183p

大事業名		中学校教育振興事業		款	項	目	
				教育費	中学校費	教育振興費	
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり			関連指標	[総合計画]	
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実				[総合戦略]	
	施策	学校教育の充実					[その他]
	総合戦略						
	個別計画						

1.概要

事業内容	教材備品の整備、情報教育機器の整備、教科研究活動等
対象	町立中学校
意図・目的	中学校教育課程において必要な備品を整備し、学習環境を整える。また、研究会の実施により、教育の向上を目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	中学校教育振興事業	教材備品の購入、情報教育機器の整備、各種教育研究会負担金等	9,444	9,054	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

中学校教育課程に係る教材備品を整備するなど、学習環境の充実に資することができた。
〈主な経費〉
・教育振興備品購入（教材費） 829,816円
・情報機器の更新に係る機器使用料（機械器具使用料） 8,083,920円
・各団体負担金（負担金） 139,700円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	無	GIGAスクール構想実現に向けた情報機器の整備	情報教育の推進
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	無	機器の管理・更新	機器の保守管理 電子教材の充実
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

国が進めるGIGAスクール構想に基づき、情報教育の推進を図るため、情報機器の充実・更新を進めていく。
--

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

教育総務課
185p

大事業名	ひかり幼稚園管理事業	款	項	目
		教育費	幼稚園費	幼稚園管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略]
	施策	子育て支援環境の充実		
	総合戦略			
	個別計画			[その他]

1.概要

事業内容	ひかり幼稚園の施設設備の維持管理
対象	ひかり幼稚園の施設
意図・目的	ひかり幼稚園施設の維持管理により、適正な保育環境を確保する。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	ひかり幼稚園管理事業	ひかり幼稚園の施設・設備の保守管理及び修繕等	871	830	520
2	ひかり幼稚園備品買替事業	備品買替（子ども用テーブル）	81	84	0
3	ひかり幼稚園環境改善事業	幼児用トイレにウォームレットの洋式トイレを設置（4カ所）	0	797	0
4	ひかり幼稚園空調機器設置事業	夏の猛暑対策として空調機器を設置	0	8,076	8,076

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

施設の維持管理及び施設の修繕・改修を行い、教育環境の維持を図るとともに、施設の安全に資することができた。

〈主な経費〉

- ・保育室空調機器設置工事 8,076,174円<繰越事業>
- ・施設修繕 395,642円
- ・機械整備委託 196,200円
- ・教育用備品購入（遊具山のつり橋等） 186,030円
- ・子ども用テーブル購入 84,240円
- ・幼児用トイレ洋式化改修工事 797,256円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	有	施設・設備の適正管理	施設・設備の老朽化・経年劣化
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	施設の機能を見据えた施設の改修及び設備の更新	施設・設備の老朽化
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

施設の老朽化が進む中、施設の機能維持を見据えた個別施設計画を策定することにより、施設の劣化状況や状態の変化を把握し、改修等の優先順位、改修内容、実施時期等を定め、改修費用の平準化を図る。

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
教育総務課
187p

大事業名	ふたば園管理事業	款	項	目
		教育費	幼稚園費	幼稚園管理費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略]
	施策	子育て支援環境の充実		
	総合戦略			[その他]
個別計画				

1.概要

事業内容	ふたば園の施設設備の維持管理
対象	ふたば園の施設
意図・目的	ふたば園施設の維持管理により、適正な保育環境を確保する。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	ふたば園管理事業	ふたば園の施設・設備の保守管理及び修繕等	1,847	1,738	186
2	ふたば園環境改善事業	網戸を設置	0	356	0
3	ふたば園空調機器設置事業	夏の猛暑対策として、遊戯室に空調機器を設置	0	4,071	4,071

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

施設の維持管理及び施設の修繕・改修等を行い、教育保育環境の維持を図るとともに、施設の安全に資することができた。

〈主な経費〉

・遊戯室空調機器設置工事	4,070,408円	＜繰越事業＞	
・施設修繕	388,505円	・施設設備等保守管理委託	271,440円
・機械警備委託	385,860円	・施設設備等清掃委託	388,598円
・教育用備品購入（トランプ等）	186,200円	・網戸設置工事	356,400円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有	施設・設備の適正管理	施設・設備の老朽化・経年劣化
現状の課題	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	施設の修繕・改修や設備の更新	施設・設備の老朽化
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

施設の老朽化が進む中、施設の機能維持を見据えた個別施設計画を策定することにより、施設の劣化状況や状態の変化を把握し、改修等の優先順位、改修内容、実施時期等を定め、改修費用の平準化を図る。

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート		所属名 決算書	義務教育課 169p	
大事業名	学校教育充実事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		学校教育が充実していると思う割合 70.0%
	施策	学校教育の充実		[総合戦略]
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造		学校教育が充実していると思う住民の割合70.0%
	個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画		[その他]

1.概要

事業内容	学習指導要領のめざす生きる力を育成する指導方法の研究および特色ある学校づくりの推進
対象	児童・生徒・教職員
意図・目的	学習指導要領の適切な実施のための指導力向上および特色ある教育の推進

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	学校教育充実事業	・学校教育の充実を図るため、学習指導要領のめざす「生きる力」を育成する指導方法の研究や特色ある学校づくりを推進する。 ・学校教育の改善による指導の充実及び地域から信頼される学校づくりを推進する。	477	460	0
2	教職員研修充実事業	人事権移譲に伴い、府で実施していた研修の多くを豊能地区と町独自で実施する。大坂府実施で豊能地区に開講されない講座を精選し、町独自では50講座の研修を実施する。 府への研修参加は、実績を指まえ1人1回2000円の負担金の予算措置が必要である。今年度は若手教職員指導員、課題研究指定校研究支援等、校内研修支援を充実させる。 ・町独自の課題に応じた研修が可能。・研修会場への移動時間の短縮が見込める。 ・研修成果や課題のフィードバックが行いやすい。・OJTが進む。	701	748	0
3	子どもの読書活動推進事業	大坂府の子育て支援リーディング事業の補助金を活用して、平成24年～26年度の3年計画で取り組んだ読書活動を継続して推進する。平成25年度から買成している「本のソムリエ」プロジェクトに加え、特に保護者、地域を巻き込んだ啓発のためのイベントや講演会を実施する。 ・児童生徒、保護者の読書への興味喚起。・読書の質の向上。・親子の対話促進	2,318	2,011	1,778
4	学力向上事業	学力向上の推進を行う。また、公民館を活用し「中学生まなび会教室」を開き、主体的に学ぶ生徒の支援を行う。町学力向上プランを立て、授業力向上、授業改善をめざして学校を支援し、小中接続を推進するための研究を行う。 ・学習に取り組む意欲の育成、家庭との連携 ・よりわかる授業づくりの推進。・小中一貫教育の推進	2,896	3,841	0
5	研究開発学校指定事業	文部科学省の教育研究開発事業の応募をふまえて、委託を受け、研究開発校として推進の困難に応じた教育課程の構成、実施及び指導方法について研究を行う。 今後の教育課程の改善に資する、より質の高い研究開発の実績。	952	1,214	1,214
6	ことばの力向上推進事業	町立中学校の1～3年生を対象に算用英語指導検定、及び小学校4～6年生を対象に日本語能力検定の受験料を年1回の受験時に全額公費負担する。学校の施設を使い、身近に受験できる機会と環境を提供する。 町立小学校の英語教科化に向けて、各小学校へ英語教材の配布、授業づくりの支援を行う。	916	1,174	1,174

7	プログラミング教育推進事業	令和2年度以降、小学校で必修化されるプログラミング教育の推進のため、体系的に児童生徒が学ぶことができる教材を購入し、各小学校で児童が活用する。また、外国と交換するため、スライプ教材を購入し、英語教育の一助とする。	0	2,312	2,312
8	デジタル教材購入事業	授業内容の充実、更なる工夫改善を目指し、各学校にてデジタル教材を活用し、タブレットや電子黒板等を利用したより良い授業づくりに取り組む。	0	2,778	2,778
9	道徳教育推進事業	町立吉川中学校が大坂府教育庁より委託を受けて「特別の強化 道徳」の研究推進を行う。また、道徳の授業に必要な教材等を購入し、授業の改善・工夫を行う。	143	200	200

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

新学習指導要領の適切な実施のため、教職員研修等の充実を図ることができた。また、各学校が次年度の学校運営に活用することができた。町立東ときわ台小学校での研究開発学校の研究が文部科学省の研究開発指定を受け、実践発表を行うことによりその他の学校に普及することができた。プログラミング教育を推進していく上で機器を購入するなど整備を進めることができた。

4.課題整理

現状の課題	課題の有無	課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無	
	事業内容	無	
中長期的な課題	費用対効果	無	
	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

--

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
義務教育課
171p

大事業名	学校運営事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		
	施策	学校教育の充実		
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造		
個別計画		豊能町子ども子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	・学校(園所)自己診断及び学校協議会等の実施 ・問題解決に向けた具体的な目標・計画の策定と点検 評価
対象	学校（管理職・教職員）、地域、保護者
意図・目的	児童・生徒の課題や保護者・地域のニーズを受け止め学校の教育目標の共有化と学校運営の組織化を図り、信頼される魅力ある学校づくりを推進する。 学校の教育活動その他の学校運営の状況について、学校協議会委員から評価をいただき、学校運営の改善を図る。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	学校運営事業	学校は、保護者や地域の信頼に応え、家庭・地域と連携して教育活動を展開する。 学校協議会等により、学校教育自己診断の作成・分析について評価をいただき、学校運営の改善を図る。	230	240	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・学校運営に関して、協議委員の意見を参考に取組みの改善・工夫が進んだ。 ・小中一貫教育に向けた取組みや子どもたちにつけたい力等について、ご意見やアイデアをいただくことができた。 ・教育委員会と学校との日頃からの連携が進み、重大事態が発生しにくい体制づくりを構築できた。
--

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算審

義務教育課
171p

大事業名	人権・地域教育充実事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	人権尊重のまちづくりの推進		学校教育が充実していると思う割合 70.0%
	施策	人権尊重意識の高揚		[総合戦略]
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造		学校教育が充実していると思う住民の割合70.0%
個別計画	豊能町子ども子育て支援事業計画			[その他]

1.概要

事業内容	・地域との協働による学校教育・保育の推進 ・人権教育の推進による一人ひとりを大切にした教育の充実
対象	児童生徒、保護者、地域、学校（教職員）
意図・目的	・地域の教育力の向上 ・一人ひとりが輝く教育・保育の充実 ・地域の文化拠点としての学校・園所づくり ・多様化する教育課題(不登校・いじめ等)への対応

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R 01決算	うち特定財源
1	人権・地域教育充実事業	・地域の文化拠点としての学校、所園づくりを推進し、地域の教育力による学校、所園の教育・保育の活性化 ・人権教育・保育推進のための研修を充実させ、一人ひとりが輝く教育・保育の推進、充実を図る。	538	537	0
2	教育コミュニティづくり推進事業	地域住民等の参画による「学校支援地域本部事業」を発展させることにより、学校支援活動を充実させ、学校教育の充実を図るとともに、地域の教育力の向上を目指す。学校と地域の連携が促進され、「地域に開かれた学校づくり」を推進する。	1,227	1,218	810
3	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	警察官OBや防犯の専門家等をスクールガード・リーダー（SG）として委任する。スクールガード・リーダー（SG）は、各小学校区を定期的に巡回し、警備のポイントや改善すべき点などの指導と評価、安全見守り隊（地域ボランティア）に対する指導等を行う。毎月の報告により地域の見守りの様子が把握できる。また、地域の見守りボランティアとの連携を図ることができる。	486	413	275
4	いじめ問題等対策推進事業	いじめ防止対策推進法に則り、いじめの未然防止及びいじめ発生時の対策のための行政としての責務を遂行する。未然防止のために学校等支援指導員を配置。学校問題調査対策委員会を発足し、重大事態等に備える。いじめの未然防止及びいじめ発生時の速やかな対応および子どもへの指導の充実。	1,487	1,871	1,871

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・人権教育の理念を持ちながら、自分を大切に、相手も大切にする教育・保育活動を進めることができた。
・いじめ事案の対応について、初動体制や保護者に対し専門家の関わりが増えてきた。
・教育委員会と学校との日頃からの連携が進み、重大事態が発生しにくい体制づくりを構築できた。

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	・事案に対する専門家の関わりが増加傾向にあり、専門職等に対する予算も増加している。 ・事案内容に関わる際に専門家の助言等が必要な高度なものが多くっており、学校園所で抱えられなくなっているため。
	事業内容	有	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

・本事業の小事業ごとの内容が多様多様となり、専門性が問われることが多く、専門職等の関わりが必要となることが多くなっていることから、予算の増額が必要であるとともに活用方法も検討する必要がある。
・小規模化していく小中学校の課題に正対した事業の拡充が必要である。

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
義務教育課
173p

大事業名	児童生徒健全育成充実事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		学校教育が充実していると思う割合 70.0%
	施策	青少年の健全育成		[総合戦略]
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造		学校教育が充実していると思う住民の割合70.0%
個別計画		豊能町子ども子育て支援事業計画	[その他]	

1.概要

事業内容	個別の教育支援計画に基づき個別の指導計画を作成し、一人ひとりのニーズに応じた授業を行う。
対象	個別の支援が必要な児童生徒
意図・目的	すべての障がいのある児童・生徒の社会参加と自立を目指し「ともに学び、ともに育つ」教育の一層の継承・発展を図る。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	児童生徒健全育成充実事業	支援学級等に在籍する児童・生徒に対して専門分野の講師を招いて巡回相談を実施し、個に応じた授業を充実させる。専門職を交えた研修の充実による教職員の力量アップを目指す。	1,022	930	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・配慮を要する児童生徒への支援充実が進んだ。
・小中学校での共通の個別の支援シートを作成し、支援教育での小中連携が進んだ。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

--

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート				所属名 決算審	こども育成課 117p
大事業名	吉川保育所運営事業	款	項	目	
		民生費	児童福祉費	児童福祉施設費	

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略]
	施策	子育て支援サービスの充実		
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (3) 子育てしながら働きやすい環境の整備		
	個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画		[その他]

1.概要

事業内容	吉川保育所における保育の実施
対象	吉川保育所 在籍児童
意図・目的	児童が健康で安全な生活ができ、集団生活に適応できるよう心身の発達を図る。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	吉川保育所運営事業	吉川保育所の運営に関する経費	27,944	29,565	3,429

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・安全点検と環境整備を行い、保育所機能の向上に努め児童の健全育成に資することができた。
・児童（2号・3号保育）の在籍状況（令和元年度末現在） 0歳児9人、1歳児20人、2歳児17人、3歳児18人、4歳児21人、5歳児13人、計98人
〈主な経費〉
・給食調理委託業務 13,341,600円
〈主な行事〉
・入所式 4月2日、運動会 6月8日、夕涼み会 6月29日、デイキャンプ7月12日、修了式 3月14日

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

--

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書こども育成課
119p

大事業名	子育て支援センター運営事業	款	項	目
		民生費	児童福祉費	児童福祉施設費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		安心して子どもを産み育てやすい町だと思割合 70% ファミリーサポートセンターの会員登録数120件
	施策	子育て支援サービスの充実		[総合戦略]
総合戦略	基本目標2 「住みたくある」子育て環境をつくる (3) 子育てしながら働きやすい環境の整備			地域子育て支援拠点3箇所 安心して子どもを産み育てやすい町だと思割合 70%
個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画			[その他]

1.概要

事業内容	子育てに役立つ情報提供を行い、家庭における子育ての支援を行う。また、拠点事業を展開させ、母子保健事業と連携し、アウトリーチ型の早期子育て家庭訪問を行う。
対象	地域住民・子育て家庭
意図・目的	子育て家庭への支援事業の充実・家庭における子育て力の向上・多様な子育て支援サービス環境の整備・母子保健と連携した妊娠前から切れ目のない子育て支援の充実

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	子育て支援センター運営事業	乳幼児やその保護者が気軽に集い交流できる場を開設し、育児に関わる情報の提供、子育ての悩みや不安の相談など子育て支援を行う。	571	488	187
2	ファミリーサポートセンター運営事業	育児講座等、登録会員の研修を実施し、地域の子育て支援と児童福祉を向上させファミリーサポート事業の充実を図る。	99	96	0
3	家庭訪問型早期子育て支援事業	母子保健事業と連携し妊娠前から誕生・1歳6ヶ月までを対象に家庭訪問によるパーソナルな子育て支援を実施する。	761	657	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・子育て環境の実態を踏まえ、子どもに関する様々なニーズに応えられるように、個々の家庭に応じた子育て支援の充実を図る取り組みを進めてきた。

・早期子育て支援として、子育て応援隊「すくすく」訪問においては、育児相談や育児に必要な情報を提供することで、育児による不安や悩みが軽減し、また施設開放に誘うことで悩みを相談できる場を提供したり、個別相談につなげる等ケースに応じた支援を行うことができた。（すくすく訪問（生後4ヶ月まで）：対象48家庭・ハイハイ訪問（1歳6ヶ月まで）：43家庭）

・施設開放においては、すくすく訪問を終えた家庭や里帰り家庭の子どもと祖父母や一時帰国の方の参加もあり、世代間や文化の交流の場にもなった。（施設開放利用延べ人数：1,492人）

・一時預かり事業は、登録しておくことにより緊急または一時的に家庭における保育が困難になった場合の保護者の安心感につながった。また利用者の中には施設を日頃から利用している保護者も多く、安心できる環境となった。（一時預かり利用延べ人数：52人）

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	・関係機関との連携 ・児童減少による対象家庭の減少 ・保育士の人材不足
	事業内容	有	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	・関係機関との連携及び体制の整備
	事業内容	有	
	費用対効果	無	

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

・子育てに対する負担や不安の軽減、保護者が自己肯定感をもちながら子どもと向き合える地域を構築し、多様な人材や資源を活用する。

・利用者のニーズに応じた事業の展開と工夫を図る。

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート				所属名 決算書	こども育成課 119p
大事業名	子育て世代包括支援センター（基本型）運営事業	款	項	目	
		民生費	児童福祉費	児童福祉施設費	

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		安心して子どもを産み育てやすい町だと思割合70%
	施策	子育て支援サービスの充実		[総合戦略]
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (2) 豊能での子育てをかなえるためのサポートの充実		安心して子どもを産み育てやすい町だと思割合70%
個別計画		豊能町子ども・子育て支援事業計画	[その他]	

1.概要

事業内容	妊娠期から子育て期にわたるまで、地域の特性に応じ、「専門的な知見」と「当事者目線」の両方の視点を活かし、必要な情報を共有して切れ目なく支援する。
対象	妊婦・子育て家庭
意図・目的	妊娠期から子育て期にわたるまで、ニーズに応じた必要なサービスを円滑に利用できるよう、切れ目のない支援を行う。 地域の様々な関係機関とネットワークを構築する。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	子育て世代包括支援センター（基本型）運営事業	ワンストップの相談窓口を置いて、妊娠期、子育て家庭の個別ニーズを把握し、情報提供、相談支援を行い、必要なサービスを円滑に利用できるよう支援を行う。	76	75	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・ワンストップでサポートできるよう母子保健事業と相互に連携を図り、安心して妊娠期を過ごし、出産・子育てができるよう情報提供や相談支援を行い、子育て支援体制及び児童虐待の未然防止の強化を図れた。（相談件数：40件）
・すきっぷ・いちごルームの紹介をすることで、すくすく訪問後の子育て支援センターすきっぷやふたば園のいちごルームの利用促進となった。（参加人数：8人）
・7歳以下の転入児家庭を訪問し、子育て支援事業、健康事業、予防接種などの情報を提供を行った。また、必要に応じて支援の必要な家庭は、継続して援助を行った。（32件）

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	・妊娠期から子育て期までの子育て家庭の個別ニーズに合った利用促進	・関係機関との連携
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	・妊娠期から子育て期までの子育て家庭の個別ニーズに合った利用促進	・関係機関との連携
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

・妊娠期から子育て期にわたるニーズに応じたサービスを円滑に利用できるよう、切れ目なくきめ細やかな支援を行う。
--

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
こども育成課
121p

大事業名	留守家庭児童育成室管理事業	款	項	目
		民生費	児童福祉費	育成室運営費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略]
	施策	子育て支援環境の充実		
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (3) 子育てしながら働きやすい環境の整備		[その他]
個別計画		豊能町子ども・子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	留守家庭児童の居場所を確保し、適切な保育を実施する。
対象	留守家庭の小学生
意図・目的	保護者の就労等により、放課後に留守家庭となる小学校1年生から6年生の児童について健全な育成を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	留守家庭児童育成室管理事業	留守家庭児童育成室の運営に関する経費 (東能勢育成室、光風台育成室、東ときわ台育成室)	1,478	1,522	1,163

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・保護者の就業等により昼間家庭にいない児童を対象に授業が終わった後の遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ることができた。

・児童の在籍状況（令和元年度末現在）

（単位：人）

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
東能勢育成室	5	12	1	4	1	0	23
光風台育成室	8	9	9	6	2	0	34
東ときわ台育成室	11	8	9	2	1	1	32
計	24	29	19	12	4	1	89

〈主な経費〉施設修繕 214,417円、光熱水料費 503,721円、東と小育成室送迎委託 287,261円ほか

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
こども育成課
173p

大事業名	幼児教育・保育の充実事業	款 項 目		
		教育費	教育総務費	事務局費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	[総合計画] 安心して子どもを産み育てやすい町だと思割合70% [総合戦略] 安心して子どもを産み育てやすい町だと思割合70% [その他]	
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		
	施策	幼児教育の推進		
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (2) 豊能での子育てをかなえるためのサポートの充実		
個別計画		豊能町子ども・子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	子どもの取り巻く社会状況を踏まえ、研究保育・研修を深め、子どもの発達に即した保育・教育を行う。
対象	保育所・幼稚園・こども園の教職員
意図・目的	保育・教育の質の向上

2.構成事業

小事業名		事業概要	事業費(千円)		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	幼児教育・保育の充実事業	特色ある豊能町の就学前保育・教育の充実のため、保育士・教職員の保育・教育力の向上を推進する。	300	320	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・研究指定制度を設け、研究保育に基づく学識経験者による指導を受け、主体的に研究活動に取り組み、各園所において研究保育を行った。（研修会:24回）
・子どもの主体的な学びにつながる保育実現をねらいとし、室内の環境による所園内研の体制整備を図り、学力向上指導員や幼児教育アドバイザーを活用し、主体的に実施した。（所園内研修：20回）
また、保育環境評価スケールの研修に参加することで、環境整備の参考となった。（研修会：5回）
・豊能町保育研究会において、運動カリキュラムの実践による検証を行った。（研究会：8回）

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	・運動カリキュラムの検証 ・保幼小中一貫教育の接続カリキュラムの研究・作成 ・所園内研修におけるマネジメント	・保幼小中一貫教育の連携 ・教育課程や指導の改善
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	・保幼小中一貫教育の接続カリキュラムの研究・作成 ・所園内研修のカリキュラムマネジメントの構築	・保幼小中一貫教育の連携 ・教育課程や指導の改善
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

・学力指導員や幼児教育アドバイザーを活用し、教職員の資質向上を図る。
・保幼小中一貫教育推進委員会にて体制を整え、計画的に実施する。
・各所属の研修保育の充実を図り、保護者や地域への情報提供に取り組む。

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
こども育成課
173p

大事業名	子育て支援環境の充実事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	[総合計画] 安心して子どもを産み育てやすい町だと思割合70% [総合戦略] 安心して子どもを産み育てやすい町だと思割合70% [その他]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実	
	施策	子育て支援環境の充実	
	総合戦略	基本目標2「住みたくある」子育て環境をつくる (3) 子育てしながら働きやすい環境の整備	
個別計画		豊能町子ども・子育て支援事業計画	

1.概要

事業内容	子どもと子育て家庭を取り巻く現状を把握し、「子どもを安心して育てる」ためのサポート、「子どもを産み育てる魅力ある施策」を推進する。
対象	地域住民・児童生徒とその保護者
意図・目的	子育ての不安解消、育児負担の軽減、親子の信頼関係の構築、キャリア教育（産み育てる次世代の若者育成）

2.構成事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	児童虐待防止対策事業	児童虐待のない社会をめざし児童虐待防止対策の取組を強化する。児童の安全確認のための体制整備を構築するとともに養育困難な家庭に対して養育支援訪問等を行う。	633	614	0
2	子育て支援環境の充実事業	地域の子育て支援環境の充実を図るため、子育てに関する各課連携事業を実施し「育児の日」の取組を進める。また、安心して子育てができる環境作りのために妊娠前から子育て期・中高年期の幅広い世代が交流する場を創出し、次世代子育てネットワークの体制整備を行う。	507	583	0
3	子育て支援地域交流充実事業	幼稚園・保育所・こども園・子育て支援センターが地域のすべての子育て家庭を対象に育児相談をはじめ、交流事業等を積極的に実施し、幼児教育・保育のセンター的役割を果たすことで、家庭における子育て環境が整えられるよう支援する。 所属の園庭開放をはじめ、ミニミニ劇場の交流などを通じて、同年齢の子どもを育ちを知ることができる。また、職員と親見知りになることで、子育てに関する相談がしやすくなり、育児不安の軽減が図れている。	645	621	0
4	障がいのある児童・生徒へのサポート相談事業	発達障がいのある児童生徒に関する専門的知識・経験を持つ巡回相談員を保育所、幼稚園、小中学校等に定期的に派遣し、発達障がいを含む障がいのある児童生徒に対する指導内容や支援方法について助言を受けるなど特別支援教育の推進を図る。 個別の支援計画を作成し保護者とともに児童生徒の発達に寄り添って見守ることができ必要な支援に繋ぐサポートが行えた。	1,664	1,377	0
5	放課後児童クラブ地域連携充実事業	放課後に子どもたちの適切なあそびや生活の場を確保し、小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得ながら、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施する。	1,483	901	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・臨床心理士が地域の子育て家庭を対象に相談事業を実施し、悩みに対する解決方法や対処方法について、的確なアドバイスや助言により相談者が具体的な解決方法を見出したり、養育支援訪問を実施することで、子育てに対する不安や負担の軽減となった。（心の相談：30件・養育支援訪問：1家庭11回）
・育児の日は、地域住民に定着し、土日や夏休みに開催することで、乳幼児やその家族等の幅広い世代の参加となった。（13回）
・就学前施設や子育て支援センターが交流事業などを計画し、積極的に実施した。（就学前施設：47回・子育て支援センター：21回）
・専門知識を有する巡回相談員を学校園所に派遣し、発達障がいを含む障害のある児童生徒に対する指導内容や支援の方法について助言を受け、一人ひとりのニーズに応じた支援を行った。就学相談も関係機関と保護者と連携しながら進めることもできた。（巡回相談：55回）
・小学校の隣り合った教室を活用することで、放課後児童クラブと放課後子ども教室が連携でき、多様な学習、体験活動、交流を実施することができた。学校と育成室の職員とで、子どもの様子を交流することもできた。（15回）

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	・親子で集える場づくり ・放課後子ども教室の体制 ・地域の人材の確保	・出生数の減少 ・学校支援サポーターの減少
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	無	・多世代によるつどいの場の設置 ・人員確保 ・場所の確保	・出生数の減少 ・学校支援サポーターの減少 ・関係機関の連携
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

・地域や関係機関が主体的に取り組んでいくことができる組織・体制づくりを行い、コミュニティの促進を図る。

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
こども育成課
173p

大事業名	子ども・子育て支援事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		
	施策	子育て支援環境の充実		
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる		
個別計画		豊能町子ども・子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	幼稚園、保育所、認定こども園の保育認定及び保育給付、豊能町子ども・子育て支援事業計画の進行管理を行う。
対象	就学前の子ども
意図・目的	子ども・子育て支援法等に基づき、幼児期の教育・保育や地域における多様な子ども・子育て支援の充実を図り、子どもの健やかな成長に寄与することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R 01決算	うち特定財源
1	子ども・子育て支援事業	子ども・子育て支援給付事務 豊能町子ども・子育て審議会の運営	5,506	10,906	0
2	第2期子ども・子育て支援事業計画策定事業	豊能町子ども・子育て支援事業計画の策定及び進行管理	0	1,977	1,977
3	保育無償化事務事業	市町村における幼児教育・保育無償化の実施に向けた環境整備	0	1,373	476

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

- ・教育・保育給付等を円滑に実施した。
- ・第2期豊能町子ども・子育て支援事業計画を策定した。
- ・幼児教育・保育無償化の実施。

〈主な経費〉

・教育・保育給付費負担金	6,086,660円	・第2期子ども・子育て支援計画策定	1,976,400円
・豊能町子ども・子育て審議会委員報酬（7名分）	224,000円		
・保育の無償化負担金	797,500円		

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書こども育成課
185p

大事業名	ひかり幼稚園運営事業	款 教育費	項 幼稚園費	目 幼稚園管理費
------	------------	----------	-----------	-------------

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略]
	施策	子育て支援環境の充実		
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (3) 子育てしながら働きやすい環境の整備		[その他]
	個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	ひかり幼稚園における教育・保育の実施
対象	ひかり幼稚園 園児
意図・目的	教育課程に基づき、教育目標を達成するため、年齢に応じた適切な教育内容、教育環境を整え教育活動を行うことを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	ひかり幼稚園運営事業	ひかり幼稚園の運営に関する経費	2,938	3,140	988

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・幼稚園での教育や行事等の園の活動を円滑に実施することができた。
・園児（1号教育）の在籍状況（令和元年度末現在） 3歳児40人、4歳児34人、5歳児32人、計96人 〈主な行事〉
・入園式 4月10日 ・夕涼み会 6月29日 ・デイキャンプ 7月12日 ・運動会 10月12日
・小学校体験入学 2月13日、21日 ・卒園式 3月16日

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

--

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

こども育成課
187p

大事業名	ふたば園運営事業	款	項	目
		教育費	幼稚園費	幼稚園管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		
	施策	子育て支援環境の充実		
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (3) 子育てしながら働きやすい環境の整備		
個別計画		豊能町子ども・子育て支援事業計画		

1.概要

事業内容	ふたば園の運営
対象	ふたば園 園児
意図・目的	園児が健康で安全な生活ができ、集団生活に適応できるよう心身の発達を図る。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	ふたば園運営事業	ふたば園の運営に関する経費	24,635	26,232	3,095

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・園児が健康で安全な生活ができ、集団生活に適応できるよう心身の発達を図ることができた。
・園児の在籍状況（令和元年度末現在） 1号(教育)： 3歳児6人、4歳児6人、 5歳児3人、計15人 2・3号(保育)： 0歳児5人、1歳児10人、2歳児6人、3歳児10人、4歳児15人、5歳児9人、計55人 合計70人 〈主な経費〉 ・給食調理委託業務 11,341,600円 〈主な行事〉 ・入園式 4月10日、夕涼み会 6月29日、デイキャンプ7月13日、運動会 10月5日 ・体験入学2月7日、卒園式 3月14日

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

--

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書生涯学習課
189p

大事業名	生涯学習推進事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	社会教育総務費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		
	施策	生涯学習の推進		
	総合戦略			
個別計画		豊能町教育大綱（令和2年1月改定）		

1.概要

事業内容	町民の主体的な生涯学習活動を支援するとともに、多彩な生涯学習活動の機会を提供し、学習活動を推進する。
対象	住民、各種社会教育関係団体
意図・目的	地域における社会教育・生涯学習の推進を図る。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	生涯学習推進事業	町民の主体的な生涯学習活動を支援するとともに、地域における社会教育・生涯学習の普及に係る事業の企画・実施を行う。	1,116	852	20
2	生涯学習施設長寿命化計画策定事業	西公民館、中央公民館、図書館、ユーベルホール、郷土資料館、スポーツ広場、スポーツセンターシートの各施設を長期に渡り使用するため、施設毎に個別施設計画を策定する。	0	14,300	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○社会教育関係団体等及び公民館使用団体の登録を行い、団体への支援を行うとともに、団体の活動内容を紹介した冊子を作成し、これから活動を始めたいと考えている方への情報提供を行った。

○高齢者を対象とした「ウグイス大学」を開催（全6回）。行政の手を離れた運営委員会による企画運営で、自主的な取り組みによる事業が実施できた。

○実行委員会による文化展（2日間）の開催（出展者数314名、作品出展数481作品）。

○生涯学習7施設（西公民館、中央公民館、図書館、ユーベルホール、郷土資料館、スポーツ広場、シートス）の今後35年間の個別施設計画を策定した。

* 新型コロナウイルスの影響で2/20以降のイベント等は中止した。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無	・自主的取り組み組織の委員固定化 ・社会教育関係団体、公民館利用団体の活動は活発であるが、後継者不足や世代の新陳代謝が進んでいない団体が多い。	・後継者不足 ・趣味趣向の多様化と社会参加の意識低下
現状の課題	事業内容	有		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無	学校教育との連携が十分に行われてはいない。	学校教育（小・中学校）と社会教育（生涯学習課）との課題の共通認識が十分でない。
中長期的な課題	事業内容	有		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

○ウグイス大学や文化展は、運営委員会や実行委員会により自主的に取り組んでいるが、委員の高齢化に伴い、次代の担い手不足が懸念される。特にウグイス大学は、講座内容のマンネリ化を招かないようにする必要はある。

○社会教育関係団体や公民館利用団体間の自主的活動の推進を図るとともに、団体への情報提供・支援を行う。

○学校教育と課題の共通認識を図り連携を進めていく。

○令和元年度に策定した個別施設計画を踏まえ、計画的に生涯学習施設及び設備の更新等を行う。

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

生涯学習課
191p

大事業名	青少年健全育成事業	款 教育費	項 社会教育費	目 青少年対策費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略]
	施策	青少年の健全育成		[その他]
	総合戦略			
	個別計画	豊能町教育大綱（令和2年1月改定）		

1.概要

事業内容	生涯学習課による青少年の健全育成を目指した事業等の取り組み。 青少年指導員を中心とした青少年健全育成を目指した事業等の取り組み。
対象	町在住の青少年
意図・目的	町在住の青少年を対象とした事業を実施し、青少年の健全育成を目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	青少年健全育成事業	青少年の健全育成を目指した事業等の取組。青少年指導員を中心とした青少年健全育成を目指した事業等の取組。	2,173	2,194	50
2	音楽ふれあい事業	オオサカンによる親子を対象とした演奏会を実施する。	1,000	1,000	1,000
3	青少年文化スポーツ育成補助事業	全国大会や海外大会の派遣経費の一部を負担する。	200	200	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○土曜お楽しみ講座（全2回 合計56名参加） ○夏休みこども講座（全4回 合計96名参加） ○はたちのつどい（133名参加） ○森と遊ぼう（79名参加） ○町連合こども会主催事業（ドッチビー大会） ○音楽ふれあい事業， ・夏休み親子ふれあいコンサート178名、クリスマスコンサート211名に町内在住の親子を無料招待 ○青少年文化スポーツ育成補助事業（2件） *新型コロナウイルスの影響で2/20以降のイベント等は中止した。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	青少年対象事業参加者の二極化	児童生徒数の減少と児童生徒の活動の多様化
	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	子ども会の存続	少子化による児童生徒数の減少
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

○今後見込まれる青少年の人口数に応じた事業を実施する。 ○会員数の減少に伴い、今後のこども会の在り方を検討する。 ○積極的な体験活動の機会を提供する。

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
193p

大事業名	西公民館管理事業		款	項	目
			教育費	社会教育費	公民館費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	[総合計画]		
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実	[総合戦略]		
	施策	生涯学習の推進			
	総合戦略	基本目標4 進めることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント	[その他]		
個別計画					

1.概要

事業内容	生涯学習施設（西公民館）の適正、かつ効率的・効果的な維持管理
対象	生涯学習施設（西公民館）
意図・目的	西地区の生涯学習施設の拠点として、住民の教養向上、健康増進及び生活文化の振興に寄与するとともに、公民館の利用促進、社会教育の発展充実を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	西公民館管理事業	生涯学習施設(西公民館)の適正かつ効率的・効果的な維持管理及び住民活動の場の提供を行う。	8,261	9,339	3,278
2	西公民館改修事業	施設の適正な運営を確保するため、必要箇所の改修を実施するための設計を行う。	0	3,080	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○西地区の生涯学習施設の拠点としての管理と運営に努めた。
○西公民館内のエレベーター、キュービクル、モジュールテラーの大規模改修のための実施設計を行った。
○令和元年度 ・開館日数：322日 ・利用件数：5,004件 ・利用者数：60,583人
* 新型コロナウイルスの影響で3/2以降、青少年ふれあいルームを閉鎖した。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有	施設・設備の修繕・更新等	施設の老朽化と計画的な財政措置
現状の課題	事業内容	有		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	・計画的な施設・設備の修繕・更新等 ・施設の運営形態の検討 ・町内公共施設の再編	計画的な施設の管理方針とそれに伴う財政措置の欠落
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

○令和元年度に策定した個別施設計画を踏まえ、計画的に施設及び設備の更新等を行うことが必要。
○今後、指定管理者制度の導入など運営形態について検討が必要。
○町内公共施設のあり方について検討が必要。

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート		所属名 決算書	生涯学習課 193p
大事業名	中央公民館管理事業	款	項
		教育費	社会教育費
			公民館費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略]
	施策	生涯学習の推進		
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント		[その他]
	個別計画			

1.概要

事業内容	生涯学習施設（中央公民館）の適正、かつ効率的・効果的な維持管理
対象	生涯学習施設（中央公民館）
意図・目的	東地区の生涯学習施設の拠点として、住民の教養向上、健康増進及び生活文化の振興に寄与するとともに、公民館の利用促進、社会教育の発展充実を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R 01決算	うち特定財源
1	中央公民館管理事業	生涯学習施設(中央公民館)の適正かつ効率的・効果的な維持管理及び住民活動の場の提供を行う。	5,000	4,987	620

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○東地区の生涯学習施設の拠点としての管理と運営に努めた。
○令和元年度
・開館日数：290日 ・利用件数：1,625件 ・利用者数：17,515人
＊新型コロナウイルスの影響で3/2以降、会議室2(学習室)を閉鎖した。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	有	施設・設備の修繕・更新等	施設の老朽化と計画的な財政措置
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	・計画的な施設・設備の修繕・更新等 ・施設の運営形態の検討 ・町内公共施設の再編	計画的な施設の管理方針とそれに伴う財政措置の欠落
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

○令和元年度に策定した個別施設計画を踏まえ、計画的に施設及び設備の更新等を行うことが必要。
○今後、指定管理者制度の導入など運営形態について検討が必要。
○町内公共施設のあり方について検討が必要。

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書生涯学習課
193p

大事業名	図書館運営事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	図書館運営費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略]
	施策	生涯学習の推進		
総合戦略			[その他]	
個別計画				

1.概要

事業内容	図書館サービス向上を図り質を高める。又、子育て支援の更なる推進及び高齢の利用者のための講座等を時宜に合わせ開催する。
対象	図書館利用者（町在住・在勤・在学者、広域利用者）
意図・目的	住民ニーズにあった図書充実やサービス提供に努めるとともに、学校や園所とも連携し、生涯学習支援、子育て支援を推進する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H30決算	R01決算	うち特定財源
1 図書館運営事業	住民ニーズにあった図書の充実やサービスの向上をはかり質を高める。また子育て支援のさらなる推進及び高齢化利用者対応のため講座等を時宜に合わせ開催する。	8,894	9,096	19
2 地形図買替事業	図書館所蔵の1/25000地形図は15年以上更新されておらず（古いものでは昭和53年のもの）、利用者の利用に供するものでなくなっているため順次更新を行う。	0	49	0
3 図書館地域子育て支援・拡充事業	子育てや、各年齢に合わせた読書・学習支援に役立つ図書等を購入する。 総合的な子育て支援のため、関係する部署・機関と連携を図り、子育て支援に関連する講座の実施、情報の提供、展示スペースの活用を行う。 民間の子育て支援の団体等と連携して、子育て世帯がいつでも気軽に安心して過ごせる場所を提供する。	745	723	700
4 図書館利用者設備・維持改修事業	図書館利用者用端末ディスプレイの購入。	0	73	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○主な実績数値 開館日数：図書館252日・中央公民館図書室266日 貸出人数：60,113人 貸出冊数：183,107冊 有効登録者数：6,298人 町民一人あたり貸出冊数：9.52冊 講座等催し：166回 展示：28回 本のテーマ展示：101種類 参加型展示：10種 ○主な実施事業 川西市との図書館合同企画の実施（市町ゆかりの作家紹介・チラシ作成・配布） 図書館の新たな可能性を模索するイベントの実施（図書館リポート・音楽会・初級手話） 図書館ボランティア事業開始（修理・リユース）、補助金を活用した子育て支援事業の実施 *新型コロナウイルスの影響で3/7以降、臨時休館。予約本のみの取り扱いとした。
--

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	・少子高齢化による人口減少 ・利用者のニーズの多種多様化 ・司書等従事職員確保の困難さ ・各種経費の削減
	事業内容	有	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	・少子高齢化による人口減少 ・利用者のニーズの多種多様化 ・従事職員確保の困難さ
	事業内容	有	
	費用対効果	無	

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

○利用者の多種多様化するニーズを的確に調査・把握し、魅力ある事業の実施に努め、利用者の増加を図る。 ○限りある経費の中でより効率的に図書館を運営するため、事業の実施や蔵書の適正な管理、資料の更新等について中長期的な計画を策定し、計画に則って事業を推進する。

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書

生涯学習課
195p

大事業名	図書館管理事業	款	項	目	
		教育費	社会教育費	図書館運営費	
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		[総合計画]	
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略]	
	施策	生涯学習の推進			
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント			
個別計画				[その他]	

1.概要

事業内容	生涯学習施設（図書館）の適正、かつ効率的・効果的な維持管理
対象	生涯学習施設（図書館）
意図・目的	すべての図書館利用者に快適性、安全性、利便性等を考えた利用環境を提供する。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	図書館管理事業	図書館利用者の快適性、安全性、利便性等を考えた適正な維持・管理を行う。	5,657	5,315	0
2	図書館空調更新事業	空調機器の改修工事のために実施設計を行う。	0	770	0
3	図書館ホームページリニューアル事業	図書館ホームページのリニューアルを行う。	0	374	0
4	図書館写真機設置事業	図書館事務所内にコピー機を新たに設置する。	0	594	0
5	図書館内設備改善事業	多目的トイレ改修、ベビーシート設置、展示スペース等照明設置を行う。	0	645	0
6	図書館屋根復旧事業	平成30年9月に被害を受けた屋根の本格復旧工事を行う。	1,036	5,498	4,168

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○施設の修繕については、利用者の安全性、利便性を考慮し、危険度、緊急度が高いものを優先的に実施した。

○館内の設備更新・機能追加（多目的トイレ改修、ベビーシート設置、展示スペース等照明設置）を行った。

○平成30年9月に台風21号の影響により被害を受けた屋根の本格復旧工事を行った。

*新型コロナウイルスの影響で3/7以降、臨時休館した。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	有	施設・設備の修繕・更新等	施設の老朽化と計画的な財政措置
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	・計画的な施設・設備の修繕・更新等 ・施設の運営形態の検討 ・町内公共施設の再編	計画的な施設の管理方針とそれに伴う財政措置の欠落
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

○令和元年度に策定した個別施設計画を踏まえ、計画的に施設及び設備の更新等を行うことが必要。

○今後、指定管理者制度の導入など運営形態について検討が必要。

○町内公共施設のあり方について検討が必要。

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
197p

大事業名	ユーベルホール管理事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	ホール運営費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略]
	施策	文化・芸術の振興		
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント		[その他]
個別計画				

1.概要

事業内容	生涯学習施設（ユーベルホール）の適正、かつ効率的・効果的な維持管理
対象	生涯学習施設（ユーベルホール）
意図・目的	施設の設備の保守管理や整備を行うことにより、貸館や主催事業など、いつも良好な環境で提供する。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	ユーベルホール管理事業	施設設備の保守管理を行い、円滑なホール運営を行う。	37,077	37,786	5,654
2	ユーベルホールホームページ作成事業	ホームページの内容を町ホームページと同様にカスタマイズし、情報更新をよりスムーズに行う。	0	385	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○施設の老朽化により生じている不具合箇所の修繕について、優先順位をつけて実施することにより、貸館や主催事業などが滞りなく実施できた。
○令和元年度
・利用日数：280日 ・利用者数：17,831人

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	有	施設・設備の修繕・更新等	施設の老朽化と計画的な財政措置
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	無	・計画的な施設・設備の修繕・更新等 ・施設の運営形態の検討 ・町内公共施設の再編	計画的な施設の管理方針とそれに伴う財政措置の欠落
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

○令和元年度に策定した個別施設計画を踏まえ、計画的に施設及び設備の更新等を行うことが必要。
○今後、指定管理者制度の導入など運営形態について検討が必要。
○町内公共施設のあり方について検討が必要。

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
197p

大事業名	文化振興事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	ホール運営費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		
	施策	文化・芸術の振興		
	総合戦略			
個別計画		豊能町教育大綱（令和2年1月改定）		

1.概要

事業内容	地域住民をはじめとする人々がホールに親近感を持つ企画・イベントを実施し、もって文化振興を推進する。
対象	住民及び近隣住民
意図・目的	新しい文化の芽を発見し育てていくために優れた芸術の鑑賞を提供し、芸術・文化の交流があるまちを目指す。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	文化振興事業	主催事業、連携協力事業、ロビーコンサートを実施し、文化芸術の振興、豊かな心を育てる。	4,995	6,128	2,373

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○ユーベルロビー登録者制度により町民を主体とした音楽によるロビーコンサートの開催（年間10回）。音楽を通じた交流と発表機会の提供、文化ホールを拠点とした文化芸術の振興に寄与した。
○町内文化推進団体との連携により、「家族と楽しむ落語の世界」や「ユーベル寄席」を開催。
○NHK大阪放送局との共催で「NHK公開講演会：特別展 流転100年 佐竹本三十六歌仙絵と王朝の美」を開催。
○協定団体であるフィルハーモニック・ウインズ大阪（通称：オオサカン）によるホールコンサート（年6回）とロビーコンサート（年4回）を開催。
○その他自主事業として、北海道歌旅座「昭和のうたコンサート」、劇団AFRICA公演、「情熱の！ BRAZIL LIVE！」を開催。

＊新型コロナウイルスの影響で2/23以降のイベント等は中止した。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	・文化芸術事業への住民の自主的活動の推進 ・予算内での企画、イベント提供の限界	・少子化による、サークル活動や音楽教室などの減少 ・事業費の縮小
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	無	文化芸術を振興し、豊かな心を育てる土壌づくり	・学校教育との連携 ・文化芸術の理解と啓発
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

○住民活動、民間事業者等との協力、連携。
○各種共催事業・補助事業の活用。

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
197p

大事業名	文化財保護事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	文化財保護費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		
	施策	文化・芸術の振興		
	総合戦略	基本目標3 地域の資源をしごととお金にかえる (1) 新たな観光パッケージやビジネスの創出		
個別計画		豊能町教育大綱（令和2年1月改定）		

1.概要

事業内容	埋蔵文化財調査、保全、寺社調査、石造物調査
対象	町内文化財
意図・目的	文化財の保護啓発、埋蔵・民俗・石造文化財の調査、保全により文化財を後世に伝える。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	文化財保護事業	埋蔵文化財調査・保全・寺社調査、石造物調査等の文化財に関する事業を行う。 豊能町の文化財を後世に伝える。	53	27	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○文化財保護委員会の開催（1回）
○文化財調査の実施（石仏調査）
○学校教育と連携し、小学生の授業の場として、郷土資料館を活用した。
○文化展において、郷土資料館収蔵資料の出張展示を行った。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	新たに発見された文化財資料について、町の文化財指定や活用（公開）にあたって、大規模な修復が必要となっている。	修復費用が多額である。
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	町内に所在する未調査文化財の把握と、埋蔵文化財区域内での土木工事への適切な対応を行うべき職員体制の構築	専門職員を養成・採用する等の将来を見据えた人員配置計画がない。
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

○文化財は保護し活用することが求められている。これは、文化財が「国民共通の宝」であるという文化財保護法の趣旨に基づくものである。これらの趣旨を町民に啓発するとともに、庁内でも文化財活用の機運を醸成し、予算の獲得や文化財専門職員の育成を期したい。
--

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート				所属名 決算書	生涯学習課 197p
大事業名	郷土資料館管理事業	款	項	目	
		教育費	社会教育費	文化財保護費	

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略]
	施策	文化・芸術の振興		
	総合戦略	基本目標3 地域の資源をしごととお金にかえる (1) 新たな観光パッケージやビジネスの創出		[その他]
個別計画				

1.概要

事業内容	生涯学習施設（郷土資料館）の適正、かつ効率的・効果的な維持管理
対象	生涯学習施設（郷土資料館）
意図・目的	豊能町の文化財の啓発施設として適切な運用と適正管理

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	郷土資料館管理事業	郷土資料館の適正な運営を行うため、維持管理を行う。	331	454	25
2	郷土資料館大木剪定事業	郷土資料館の適正な運営を行うため、資料館横の樹木の伐採を行う。	0	297	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○来館者総数：482人（大人258人、こども224人 町内395人、町外87人）
○倒木の恐れがある資料館横の樹木（大木）を伐採した。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	施設・設備の修繕・更新等	施設の老朽化と計画的な財政措置
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	・計画的な施設・設備の修繕・更新等 ・施設の運営形態の検討 ・町内公共施設の再編	計画的な施設の管理方針とそれに伴う財政措置の欠落
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

○令和元年度に策定した個別施設計画を踏まえ、計画的に施設及び設備の更新等を行う。
○今後、指定管理者制度の導入など運営形態について検討する。

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
199p

大事業名	体育施設管理事業	款	項	目
		教育費	保健体育費	スポーツ振興費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略]
	施策	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進		
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント		広域で相互利用が実現している公共施設数 2施設
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	生涯学習施設（スポーツ広場、ふれあい広場）の適正、かつ効率的・効果的な維持管理
対象	生涯学習施設（スポーツ広場、ふれあい広場）
意図・目的	住民の体力増進に寄与するため、適切に施設を管理・維持する。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	体育施設管理事業	下記体育施設の維持、管理を目的とする。 ・スポーツ広場 ・ふれあい広場	3,313	3,732	1,613

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○ふれあい広場・スポーツ広場の施設利用や管理が適切に行われた。
○町民だけでなく近隣市町の地域住民の利用もあり、住民の健康増進に寄与した。
○令和元年度 ・ふれあい広場…テニスコート：1,035件 運動広場：195件 ゲートボール場：1件 ・スポーツ広場…球技場：39件 運動広場：264件

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有	施設・設備の修繕・更新等	施設の老朽化と計画的な財政措置
現状の課題	事業内容	有		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	・計画的な施設・設備の修繕・更新等 ・施設の運営形態の検討 ・町内公共施設の再編	計画的な施設の管理方針とそれに伴う財政措置の欠落
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

○令和元年度に策定した個別施設計画を踏まえ、計画的に施設及び設備の更新等を行う。
○今後、指定管理者制度の導入など運営形態について検討する。

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート				所属名 決算書	生涯学習課 201p
大事業名	シートの管理事業	款	項	目	
		教育費	保健体育費	スポーツ振興費	

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略]
	施策	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進		
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント		[その他]
個別計画				

1.概要

事業内容	シートの指定管理制度による適正管理業務
対象	生涯学習施設（シートス）
意図・目的	民間事業者による指定管理者の能力を活用し、地域住民等に提供するサービスの効果効率を向上させ、地域住民の一層の健康管理を図る。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	シートス管理事業	民間活力導入により、効率的な運営を図るため、平成19年度より、1期5年間で指定管理を導入しており、現在は平成29年度から令和3年度までの3期目である。	47,107	53,180	503
2	シートス空調設備改修事業	空調機器の更新。	0	100,485	90,400
3	シートス屋根復旧事業	平成30年9月に被害を受けた屋根の本格復旧工事。	0	2,602	2,602
4	シートス貯湯タンク熱交換器更新事業	貯湯タンク熱交換器に係る更新工事。	0	583	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○民間活力により、サービスの効果効率を図り、一層の健康増進が図れた。

○令和元年度利用者数

・プール/ジム/スタジオ 128,380人	・アリーナ 32,774人
・第2体育場 2,436人	・テニスコート 8,185人
・会議室 881人	・総利用者数 172,656人

* 10月、空調設備/貯湯タンク改修のため、プール臨時休業。

* 新型コロナウイルスの影響で3/4以降のスタジオ、プールの教室は中止。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	施設・設備の修繕・更新等	施設の老朽化と計画的な財政措置
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	・将来的に見込まれる利用者の減 ・計画的な施設・設備の修繕・更新等 ・施設の運営形態の再検討 ・町内公共施設の再編	・町民の人口減少及び高齢化 ・計画的な施設の管理方針とそれに伴う財政措置の欠落
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

○令和元年度に策定した個別施設計画を踏まえ、計画的に施設及び設備の更新等を行う。
○運営形態について再検討する。
○多種多様な住民ニーズに対する早急な対応、利用者の新規獲得を図る。

令和元年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名
決算書
生涯学習課
201p

大事業名	生涯スポーツ推進事業	款	項	目
		教育費	保健体育費	スポーツ振興費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略]
	施策	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進		
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (2) コミュニティ力の維持・強化の支援		[その他]
個別計画		豊能町教育大綱（令和2年1月改定）		

1.概要

事業内容	学校体育施設の開放、各種スポーツ教室の開催・活動団体への支援など。
対象	住民及び近隣住民
意図・目的	誰もがいつでも、どこでも気軽にスポーツに親しめ、自分にあった生涯スポーツを見つけることができるような事業の展開を行うとともに、自主的に活動できるよう支援・育成し、町民のスポーツ振興を図る。

2.構成事務事業

小事業名		事業概要	事業費（千円）		
			H30決算	R01決算	うち特定財源
1	生涯スポーツ推進事業	地域における生涯スポーツの振興を図る。	2,133	2,116	93
2	スポーツフェスティバル事業	様々なスポーツ・レクリエーション活動の場と機会を提供する。	267	273	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○スポーツ推進委員会主催事業の実施…様々な年齢層の方が参加し、スポーツの機会提供と参加者交流を図ることができた。
トレッキング教室「諭鶴羽山へ歩く」、フロアカーリング大会の開催。（サイクリング教室は雨天中止）
○スポーツフェスティバルの開催…多種多様な内容で、色々なスポーツに触れる機会を創出した。
○町体育連盟への支援…各種スポーツ団体により町民大会等を実施した。
○町民ゴルフ大会の開催…年2回実施。
実行委員が自主的にを行い、住民主体の大会として、幅広い年齢層の交流の場として定着。

* 新型コロナウイルスの影響で2/20以降のイベント等は中止した。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	町民ニーズへの対応	・スポーツの多種多様化 ・ニーズの多様化 ・少子高齢化
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	生涯スポーツ推進のための活動（受入）団体の存続	・少子高齢化、人口減少 ・スポーツ団体構成員の高齢化、後継者不足
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

○多種多様なスポーツ事業の展開を図り、生涯楽しめるスポーツを発見できる機会を増やす。
○自主的活動の推進。活動団体（既存・新規）への指導・育成、支援。
○町内活動団体の情報提供と紹介。
○町の認知を高める（他地域からの参加者を集められる）イベントの開催。